

# 進路だより

発行：平成28年4月13日

## 1 合格体験記

これまでの卒業生から皆さんへ合格体験記を贈ります。進路活動について先輩方の行ってきた勉強法などを自分の進路実現の参考にしてください。

「目標ライン到達にはどの科目で最も得点が伸びやすいのかを常に意識しつつ勉強することが重要」

中等2回生 東京外国語大学国際社会学部

### ①学習方法

センター試験の対策は学校の対策授業に任せて自信の無いところだけ自習し、家庭では二次試験に必要な英語・世界史に集中しました。英語は音読すること、世界史は問題集を繰り返し解くことに徹して基礎力を養い、加えて英語はリスニング・長めの長文、世界史は論述など慣れがある分野は早くに対策を始めました。一年を通して振り返ると、どの科目の配点が大きいのか、目標ライン到達にはどの科目で最も得点が伸びやすいのかを常に意識しつつ勉強することが重要であったように感じられます。毎日勉強することは大切ですが、試験が近づくにつれ、いらいらして集中力を失うこともあるので、たまには息抜きで好きなことをする日を設けることも重要だと思います。無理はせず、落ち着いて日々勉強を頑張ってください。

### ②参考となった参考書・問題集

英語：短期で攻める最頻出問題発音・アクセント300(桐原書店)  
国語：らくらくマスター漢文句形と単語(河合出版)、実践トレーニング古文単語600(中央図書)  
物理基礎：10日あればいい！短期集中ゼミセンター物理基礎(実教出版)  
世界史：ウィニングコンパス世界史の整理と演習(とうほう)、新世界史(山川出版社)

「生活のリズムを崩さないこと」

中等2回生 大阪市立大学経済学部

### ①学習方法

私は受験期間、いつも机の上に時計を置き、時間を意識して勉強しました。「〇分で問題集〇ページやる」というように自分の中で目標を決めることで、集中して取り組めたと思います。何時間も集中し続けることは難しいですが、時間を区切ることで、メリハリをつけて勉強できると思います。特にセンター試験は時間を上手に使うことが出来るかが大切です。私は過去問を繰り返し解く時に少しずつ時間を短くして取り組みました。結果、本番で緊張しても、時間にある程度余裕を持って取り組めた教科が多かったと思います。

### ②大学受験に対する心がまえ

私が受験生活で大切だと思うのは、生活のリズムを崩さないことだと思います。私は、部活動の早朝練習で前期課程の時から朝早くから学校に行く生活を送っていたので、6年生になり部活を引退した後も、朝早くに起き、部活をしていた頃と同じ時間のバスに乗って学校に行き、教室で勉強していました。受験は長期戦なので最後まで粘るよう、生活リズムは大切だと思います。

### ③その他伝えたいこと

私も6年生になったときは1年間がんばれるかすごく不安でした。でも、終わってみると1年間は、特に最後の数か月は本当に短いです。後悔しないためにも、一日一日を大切に、強い志を持ってがんばってください。

### ④参考書・問題集

英語：システム英単語(駿台受験シリーズ)(駿台文庫)  
数学：文系数学 入試の核心(Z会出版)、新課程チャート式基礎からの数学(数研出版)  
世界史：最新世界史図説タペストリー(帝国書院)  
時代と流れのつかめる用語問題集世界史B(シグマベスト)(文英堂)

「諦めないで最後までやり抜いてください」

中等2回生 慶應義塾大学総合政策学部

### ①学習方法

受験勉強を通して日々の授業の復習が大切だと感じました。入試は全範囲が出題されるので習ったことを何度も繰り返し定着させることが重要です。定期テストや模試も受けっぱなしになってはいけません。どの科目も試験内容によって必要な対策が異なるので自分は何が苦手なのか見極める必要があります。そのためできるだけ早く一度は過

去問に触れておくべきです。

また、私の志望学部には学校の授業にない小論文が出題されました。書く練習はした方が良いですが、自分の知識を増やしたり、ネタを集めたりして内容を充実させる方が大切かもしれません。ただし、途中で主張が矛盾していないか、論理が飛躍していないかなどを自分でチェックするのは難しいので国語の先生にお願いして見てもらう方が良いと思います。

#### ②大学受験に対する心構え

インターネットや予備校、参考書など受験に関する情報はあふれています。これらを参照するのは良いですが、振り回されてはいけません。私の志望校はインターネットや週刊誌に有る事無い事書かれていますが、確固たる志望理由があったので気にしませんでした。ですから、知名度や偏差値を理由になんとなく〇〇大学志望のようにならないように志望理由をしっかりと持ってください。オープンキャンパスや説明会などは積極的に参加するべきです。また、スマートフォンのアプリからでも多くの大学のパンフレットを閲覧できるので合わせて活用するのも良いです。

また、予備校に通っている人は勉強している気分で終わらないように気をつけましょう。同様に参考書も購入して満足しないように必要に応じて利用しましょう。通うだけ、買うだけでは合格に繋がりません。

一番大切なことは規則正しい生活をおくることです。多くの人が SNS などが利用できる環境だと思いがちですが、めりはりをしっかりとつけましょう。学校で居眠りをしてしまう人は要注意です。

#### ③その他伝えたいこと

私はどうしても慶應義塾大学総合政策学部に進学したかったので一般入試の前に A0 入試を 2 回受けました。しかし、2 回とも不合格でした。多少は落ち込みましたがまだ受験が終わったわけではないので諦めませんでした。また、予備校にはほとんど通っていませんでしたので学校の自習室に行き、友達がいる中で勉強しました。受験生特有の空気に包まれていたことは大きかったと思います。

みなさんも諦めないで最後までやり抜いて行きたいところに行ってください。

#### ④参考となった参考書・問題集

英語：世界一わかりやすい慶應の英語合格講座(角川書店) 世界史：世界史トータルナビ INPUT & OUTPUT 800(学研出版)
---

### 「すべての時間を全力で過ごす」

中等 1 回生 大阪大学人間科学部

#### ①学習方法

本格的に受験を意識し始めたのは 5 年生の冬でした。いわゆる、受験生 0 学期と呼ばれる時期です。その頃から朝は 5 時に起き、部活動の早朝練習に行くまでの 1 時間半を受験勉強にあてるようになりました。私は一切塾に通っていませんでしたので、部活動後の時間は学校の宿題や自分で決めた課題に取り組むことができました。引退後は自分で使える時間が増えたので、課題の量を増やして対応しました。夏休み終わりに第一志望校やセンター試験の赤本に手を出し、11 月までは第一志望校の過去問を、それ以降からはセンター試験の過去問を中心に解きました。また平日は学校の自習室、休日は家で勉強して、自分をできるだけ集中できる環境に置きました。結局、現役時代はセンター試験でボーダーラインにギリギリ足りない中、前後期日程共に第一志望校に出願しどちらも不合格となり浪人生となることを決定しました。浪人生の間は予備校に通い、周囲の人々から様々な刺激を受けて様々な勉強方法を模索したこともありました。しかし自分でしなければいけないことを見つけてこなすというスタンスは変えず、毎日予備校の予復習に加え自分の課題もしていました。

#### ②受験に対する心構え

受験期は不安や疲労がたまっていらいらすることがたくさんあると思います。その時に重要なのが共に頑張れる友達の存在です。私は現役・浪人時共に、支えあえる友達に恵まれたおかげでそれほど思い悩むことなく勉強に打ち込むことができました。友達と一緒に過ごしてだれてしまうことはよくないことですが、一日に一回くらい友達と他愛ない話をして大笑いできるくらいの心の余裕が必要だと思います。

また、決めたことは絶対にやりきるという気持ちが重要です。一日にこなす課題は自分がギリギリできるかできないかというくらいの量を設定して、受験生の間くらい自分に対してストイックになることが大切だと思います。

#### ③その他伝えたい事

私は中等で過ごした 6 年間の多くを陸上競技に費やしました。平日の早朝練習や放課後の練習は欠かさず参加し、休日も練習や大会に行っていたため、受験生になるまで勉強に充てている時間は短かったと思います。また体育祭や文化祭などの行事にも積極的に参加し、附属での生活をこれ以上ないほど満喫することができました。浪人生になることを嫌がる人も多いですが、だからといって附属での生活を疎かにすることはとてももったいないことだと思います。一生に一度の時間だからこそ、附属での生活も最後まで全力で過ごしてほしいと思います。

#### ④参考書・問題集

予備校のテキスト、予備校の授業でとったノート センター試験、第一志望の大学の過去問
--